



# 講師紹介 (福井大学地域づくりコンソーシアム)



## □野嶋慎二(のじま・しんじ)

福井大学工学部建築・都市環境工学科 教授

1960年東京都生まれ。専門は、まちづくり、都市デザイン、都市計画。博士(工学)、一級建築士。東京大学工学部建築学科卒、早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了、同博士課程修了。福井大学工学部講師、同助教授を経て、2005年から同大学教授。2008年Oxford Brookes University(英国)客員研究員。



## □岸俊行(きし・としゆき)

福井大学教育学部附属教育実践総合センター(教育情報部門) 准教授

1976年東京都生まれ。2002年早稲田大学大学院人間科学研究科修士課程修了。2006年早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(人間科学)(早稲田大学)取得。2006年より早稲田大学人間総合研究センター客員研究員、2007年より同大学人間科学学術院助手を経て2010年より現職。専門は教育心理学、教育工学。心理学的アプローチから様々な教育事象を測定することを行ってきましたが、主たる興味関心は「人」です。私たち「人間」が有している特徴を、教育的な営みを通して明らかにしていくことを行っています。



## □田中志敬(たなか・ゆきたか)

福井大学国際地域学部 講師

1977年愛媛県松山市生まれ。同志社大学大学院社会学研究科(旧文学研究科)博士後期課程単位修得後退学(社会学修士)。前職は京都市景観・まちづくりセンターで地域まちづくり支援に携わる。現職は福井大学国際地域学部講師。専攻分野は都市社会学、地域社会学。研究課題は町内会・自治会(地域住民組織)、まちづくりなど。執筆分担をおこなった書籍として、「住民自治組織とまちづくり」(リムボン・まちづくり研究会編著『まちづくりコーディネーター』、2009年、学芸出版)、「京都の地域コミュニティと地域運営アソシエーション」(鮎坂学・小松秀雄編『京都の「まち」の社会学』、2008年、世界思想社)、「マンション増加地域におけるコミュニティ運営——京都市都心部の町内・元学区を事例として」(岩崎信彦・広原盛明ほか編『町内会の研究(増補版)』、2013年、御茶の水書房)など。



## □井階友貴(いかい・ともき)

福井大学医学部地域プライマリケア講座 教授

1980年兵庫県生まれ。2005年滋賀医科大学医学部卒、済生会滋賀県病院、臨床研修医。2007年、「県立柏原病院の小児科を守る会」の活動で有名な兵庫県立柏原(かいばら)病院に勤務、地域医療崩壊の現状を知る。2008年より高浜町和田診療所医師、2009年からは高浜町の寄附講座「地域プライマリケア講座」助教 兼 同診療所長、2012年より同講師、2018年より同教授。2014年ハーバード公衆衛生大学院社会行動科学部客員研究員、2015年より高浜町健康のまちづくりプロデューサーを兼務。

住民、行政、医療者が三位一体となった理想の地域医療を追求し、医学教育、住民啓発に奮闘し、研修生や住民の地域医療に対する意識の変化を促している。「たかほま地域医療サポーターの会」の立ち上げにかかわり、地域の絆と健康を醸成する活動を研究、高浜の健康やまちづくりを考えるあらゆる立場の者が集まって議論し、実行実現する会合「けっこう健康! 高浜☆わいわいカフェ」を主宰する。

